

機器利用技術講習会のご案内

【デジタルマイクロスコープ】

～ 手軽に拡大観察ができます ～

大阪府立産業技術総合研究所では、所有している試験研究機器等を用いて中小企業の皆様の新技術・新製品の開発や生産管理・品質管理のお手伝いをしています。これら試験研究機器の利用範囲、性能などの特徴をより具体的にご理解いただき、皆様方の一層ご利用いただくため、下記の要領で講習会を開催しますのでご案内申し上げます。

◆日	時	平成22年8月18日(水)	① 13:15～	② 14:45～
		平成22年8月25日(水)	③ 13:15～	④ 14:45～
		平成22年9月1日(水)	⑤ 13:15～	⑥ 14:45～
		平成22年9月8日(水)	⑦ 13:15～	⑧ 14:45～
		平成22年9月15日(水)	⑨ 13:15～	⑩ 14:45～
		平成22年9月22日(水)	⑪ 13:15～	⑫ 14:45～

各コースの講習時間は約1時間です。

◆場 所：大阪府立産業技術総合研究所（和泉市あゆみ野2-7-1 TEL:0725-51-2518）
当日は、講習開始時間前に当研究所の玄関ホール講習会開催案内小ボード前に、お集まりください。担当者が講習会場にご案内します。

◆定 員：各コース（①～⑫）とも1社のみ。参加人数は1社3名まで

※ 同一企業（事業所）の2回以上の受講はお断りします。

※ 受講にはTRIカードが必要です。まだお持ちでない方は当日お申し込みいただけます（無料）。

◆費 用：無料

◆申込み先：大阪府立産業技術総合研究所 業務推進部 技術普及課

※ お申し込みはメール（fukyu@tri.pref.osaka.jp）またはFAX（0725-51-2520）でお願いします。

メールでお申し込みを頂いた方のみ、返信で受付をお知らせします。

なお、メールでお申し込みを頂いた方には、当研究所の関連情報をお知らせする「産技研ダイレクトメールニュース」を配信させていただきますので、ご了承下さい。

◆対象機器：デジタルマイクロスコープ

デジタルマイクロスコープは、製品や材料の表面を拡大観察する装置です。光学顕微鏡と比べて被写界深度が深く、ピントのあっている範囲が広いので、光学顕微鏡ではピントの合わなかった凹凸の大きな対象物も鮮明に観察できます。画像連結機能により高解像度で広視野の写真撮影が可能です。さらに、観察対象物表面の凹凸情報の3D表示や計測もできます。基本的に試料の前処理は不要であり、下記のような製品開発、品質管理、トラブル対策に有効です。拡大倍率は100～1000倍です。

・金属、セラミックス、プラスチック等の各種製品や試料の表面観察

・金属、自動車、化学、電子・電気、繊維分野のトラブル対策など

(例) 製品の微小傷観察、塗装表面の異物観察、ボンディング状態観察、材料破面観察、リブ形状観察、基板はんだ観察、フィルタ表面観察、粉末粒子観察、研磨状態観察、フィルム膜厚測定など

本講習会は、1社毎に実施し、会社から持ち込まれる試料（1～2点）を使って実習を行います。試料ステージ（130×180mm）上に静置可能な試料をご持参下さい。持参試料がない場合は、当方で用意した試料を使って実習します。なお、試料等に関するご質問は、下記講習担当者までお問い合わせください。（TEL:0725-51-2518）



◆講習担当：大阪府立産業技術総合研究所 化学環境部 化学材料系

久米 秀樹、稲村 偉、垣辻 篤、渡辺 義人、長谷川 泰則

